

今週のビルマのニュース 2009年2月27日号【0908号】

今週の主なニュース：政治囚23人が釈放される

・ビルマ軍政は20日夜、約6300人の囚人に恩赦を与えると発表した。ビルマ政治囚支援協会によれば政治囚23人が21日に釈放された。同協会は、ビルマにはいまだに2100人以上の政治囚がいるとしている。

・恩赦についての軍政の発表を受け日本の外務省は22日に外務報道官談話を発表し、釈放を「前向きな動き」として評価した。談話の「参考」部分には「(元囚人は釈放により)自己、地域、国家の利益に貢献できるようになり、他の国民とともに、2010年に開催される公正な総選挙に参加できることとなる」という軍政の国営テレビ報道を掲載している。

・国連事務総長は23日、アウンサンスーチー氏を含む全政治囚を釈放するよう改めて軍政に要請した。EUも同日発表の議長国声明で同様の要請をした。

その他：NLDが日本政府を非難、ほか

・国民民主連盟(NLD)は19日に声明で、ガンバリ国連事務総長特別顧問と中曽根外相が2010年総選挙の開催を支持する声明を出したことについて「1990年総選挙の結果を尊重するとしたこれまでの国連総会決議だけでなく、わが党の要求にも反する」として懸念を表明した(NLD特別声明4/02/09)。ガンバリ氏は来日中の12日に中曽根外相と会談し、外務省によれば「2010年の総選挙が国際社会に祝福されるものとなるようミャンマー政府に対し働きかけていくことで意見が一致」していた。NLDは2008年憲法に基づく総選挙の開催に反対している。

・米国国務省は20日の記者会見で、現時点で対ビルマ経済制裁を解除する予定はないことを明らかにした。クリントン国務長官が訪問先の日本などで「(前政権の)ビルマ政策を見直している」と述べたことについて記者からの質問に答えたもの。

・国民民主連盟(NLD)は24日、17日に発表した声明の一部を訂正し、米国などによる経済制裁に反対していないことを改めて表明した(24日付ミジマ)。17日付の声明は軍政側の声明から語句を引用していたが、英語版では引用部分が不明確だったため、「NLDが経済制裁に反対を表明した」との憶測を呼んでいた。

・報告書『サイクロン「ナルギス」襲来のその後～イラワジ・デルタからの声』が27日に発表された。ジョンズ・ホプキンス大学ブルームバーグ公衆衛生

大学院付属の公衆衛生・人権センター及びビルマ緊急援助チームとの共同出版。昨年5月のサイクロン襲来後、被害が大きかったイラワジ(エーヤワディ)デルタで調査を行った結果、食糧や水、住居といった基礎的なニーズがまだ満たされていないことのほか、ビルマ当局による救援物資の横流しや横領、転売、また強制移住などの被災者に対する人権侵害の様子が詳細に述べられている。報告書はまた、被災地域で起きた人権侵害の調査を、国連安保理が国際刑事裁判所(ICC)に付託するべきだとしている。

・神奈川県警は26日、核兵器やミサイルなど大量破壊兵器に転用可能な装置をビルマを経由して北朝鮮に不正輸出しようとした疑いで、北朝鮮系の貿易商社などの捜索を始めた。北朝鮮とビルマは2007年に国交を回復している(26日付読売新聞ほか)。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など
新たな発表はなし

イベントなど

・在日ビルマ人共同行動実行委員会アクション - 国連事務総長に対し、一刻も早くビルマを訪問し、スーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動(国連大学前、23~27日 15~16時)

・ドキュメンタリー「ビルマ、パゴダの影で」水戸上映会 アムネスティ水戸グループ主催(水戸市あむねすみと2F、3月8日 13時半開場、14時開演)

・第3代国連事務総長ウ・タント生誕100周年記念祝典 BDA・AaharaSazaungほか主催(みらい座いけぶくろ(豊島公会堂)、3月8日 17時半~)

・ビルマ人権の日記念デモ行進「ビルマに自由と人権を!(仮題)」在日ビルマ人共同行動実行委員会主催(五反田南公園集合、3月13日14時~)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165